

話 題 (I)

原子力学会 (核データ・炉物理) 合同特別会合

1989年日本原子力学会秋の大会で行われた (核データ・炉物理) 合同特別会合では

(1) 加速器遮蔽における核データの諸問題

(東北大) 中 村 尚 司

(2) 原研・高崎研の加速器整備計画と核データ

(原 研) 田 中 進

の2件の講演があった。このうち中村氏の講演については「核データニュース」No.35にすでに掲載した。本号では、田中氏の講演を載せる。

1990年日本原子力学会年会での (核データ・炉物理) 合同特別会合のプログラムは次の通りであった。

座長: (名 大) 加 藤 敏 郎

(1) 原子炉崩壊熱の推奨値 (15分)

(名 大) 田 坂 完 二

(2) 「第2回先端技術シンポジウム—加速器による新展開」報告 (15分)

(原 研) 金 子 義 彦

(3) JENDL-3以降の核データ活動 (パネル討論)

モデレーター: (京 大) 木 村 逸 郎

パネリスト: (原 研) 菊 池 康 之, (データ工学) 大 竹 巖,

(C R C) 岸 田 則 生

このうち、金子氏の講演については、本号の話題 (VIII) と同じなのでそちらを見ていただきたい。ここでは、田坂氏の講演と、パネル討論の内容を掲載する。